

「お互いさまの地域を育むために」通信



余市町生活支援・介護予防体制整備事業

～～学習会を開催しました～～



皆さん、こんにちは。この広報誌も4回目の発行になりました。今回は、今年度これまで行ってきた活動について報告いたします。

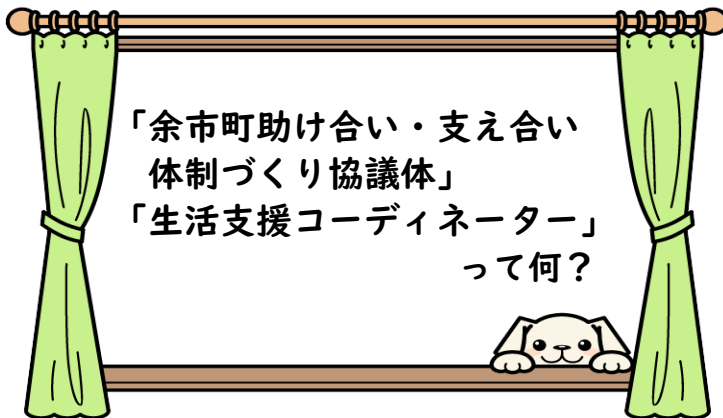
昨年8月2日、余市町中央公民館において余市町生活支援体制整備事業学習会を開催いたしました。

この学習会には、「余市町助け合い・支え合い体制づくり協議体」の委員及びその選出団体役員などの皆様に参加を呼びかけ、12名の参加をいただきました。

講師には、京極町社会福祉協議会生活支援コーディネーターの後藤龍太郎さんをお迎えして京極町における生活支援体制整備事業について、事業開始から現在までの事業展開や実践報告のお話をいただくとともに、同町の共生型地域福祉拠点の紹介などをわかりやすくご説明いただきました。

また、この事業では「住民との意見交換が不可欠である」ともお話されていました。

コロナ禍の状況ではありますが、少しずつ皆さんとの意見交換の機会を計画・実施していきたいと考えています。



生活支援体制整備事業を行っている各市町村では、生活支援コーディネーターの配置と協議体を設置しており、余市町では「余市町助け合い・支え合い体制づくり協議体」と呼んでいます。

協議体は、“情報の共有・連携強化の場”“地域づくりの意思統一の場”などの役割を持ち、地域の多様なサービス提供団体などのメンバーで構成されています。余市町では、民生委員協議会・区会連合会・老人クラブ連合会・地域包括支援センター・在宅介護支援センターかるな・

北後志ケア連絡会・社会福祉協議会から委員が選出されています。

「生活支援コーディネーター」は、“住民同士の支え合いの地域づくり”を行うための調整役として、住民と各関係団体との調整や住民同士の活動を広める役割があります。

お互いさまの地域を育むために2021 を開催しました。



昨年11月23日、余市町中央公民館において「お互いさまの地域を育むために2021」を開催いたしました。

余市町生活支援コーディネーターより、これまでの活動報告を行った後、社会福祉法人アンビシャス理事長 長谷川聡氏より「みんなで始める 助け合い・支え合い活動」をテーマに講演をいただきました。

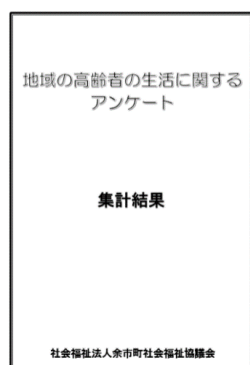
たくさんの人の参加を動機づけるポイントなど、講師のご経験をふまえ、わかりやすくユーモアあふれるお話をいただき、会場内も和やかな雰囲気となりました。

参加を動機づける5つの工夫

(講演の中から)

定期参加
自由参加
飲食物
出し物
参加者

- ・いつでもやっている
- ・いつでも出られる
- ・美味しいものがある
- ・楽しいことがある
- ・会いたい人がいる



アンケート結果がまとまりました。

昨年10月に、民生委員・介護予防教室の参加者・老人クラブに加入している方などを対象にアンケート調査を行いました。

このアンケートは主に、インターネット環境や生活上の困りごとなどについてお聞きしています。詳しい結果をご覧になりたい方は、社会福祉協議会のホームページをご覧ください。詳しい結果を閲覧いただくか、社会福祉協議会までご連絡ください。

編集後記



新型コロナウイルス、オミクロン株の感染拡大が猛威を振っています。先の見えない戦いが続きますが、「明けない夜はない」という言葉があるように、この先、明るい日々が来るのを信じていこうと思っています。

余市町生活支援コーディネーター 吉野 真弘

発行日：令和4年2月1日
社会福祉法人
余市町社会福祉協議会
〒046-0011
余市町入舟町400番地
TEL 0135-22-3156
FAX 0135-23-3664
ホームページ
<http://yoichi-syakyo.or.jp/>